

10899その他の化学工業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	23 ～ 24	反応釜洗浄工程で、洗浄後のお湯を中和するため、89%リン酸400gをポリ袋に採取したときに、床にこぼしたリン酸で足下が滑り、体勢を崩し転倒した。その際、近くの苛性ソーダ洗浄液の入った容器（蓋をしていなかった）にリン酸が入り、急激な中和反応により、突沸して両目、顔面、および足の一部に薬傷を負った。	19	12	519	50～ 99
2	2020	1	9 ～ 10	パレットに4本積み付けているドラム缶（オープンドラム館NET180kg）の天板リングを外すとき、ドラムを少々ずらす作業を行っていたが、作業終了時に背中に痛みが走り、右側広背部にろっ間神経痛を発症した。	36	19	611	30～ 49
3	2020	1	9 ～ 10	工場内の混合機に、ゴムの離型紙を剥がして投入し、混合攪拌中、離型紙の紙片が入ったことに気が付き、紙片を取ろうと機械を止めずに手を入れて、攪拌中のゴムに挟まれて、左手の人差し指、中指の先端に切断した。	56	7	162	10～ 29
4	2020	1	11 ～ 12	トイレから自職場へ戻るため渡り廊下（緩い下り勾配）を歩行中、滑る形で体勢を崩した際、既往歴のある左脛骨結接部を骨折した。	34	19	417	1000 ～ 9999
5	2020	1	17 ～ 18	ゼラチン調整室で、秤量作業中、原料を運搬するため折り畳み式台車のロックを手で解除しレバーを足で踏み、台車の前方が跳ね上がり勢いよく戻った。その際、可動部分に右手中指が挟まれ骨折した。	23	7	362	100 ～ 299

6	2020	1	14 ～ 15	作業終了後、1階へ向かうための階段で最後の1段を踏み外し、つま先から地面に着地した際、足首に負荷が掛かり右足舟状骨を折った。	35	2	413	500 ～ 999
7	2020	1	9 ～ 10	製品課工場の階段を下りようとして足を滑らせ、右肘を打ち靭帯を損傷した。	37	2	413	300 ～ 499
8	2020	1	9 ～ 10	化粧品製造作業で検品を行っていた際、右腕をねじるように作業を続けていたところ、徐々に痛みが出現して、右母子伸展筋筋挫傷と右前腕膜炎を負った。	28	19	921	100 ～ 299
9	2020	2	16 ～ 17	終業後、事業所建屋内階段を下りる途中で右足首をひねり、捻挫した。	64	19	413	100 ～ 299
10	2020	2	16 ～ 17	容器・タンクの洗浄が終了し、周辺の床等を熱水（推定70～75℃）で清掃していた。そのとき、落ちにくい液があったため、右手にホースを持ち、集中的に熱水を掛けていた際、左長靴の中に熱水が入って、左足に火傷を負った。	36	11	529	500 ～ 999
11	2020	2	3 ～ 4	設備点検後、階段降下中に足を滑らせ、階段を踏み外し転倒し、右肩鎖骨を折った。	59	2	413	30～ 49
12	2020	2	13 ～ 14	工場敷地内の危険区域外で、火薬の燃焼確認をしていたとき、左手に持っていた火薬に火の粉が飛んで引火し、左手のひらに火傷を負った。	65	4	511	10～ 29
13	2020	2	12 ～ 13	工場内で、成形機を修理中、機械に右膝を挟まれ裂傷を負った。	20	7	169	30～ 49
14	2020	2	15 ～	高温の酸性水を反応缶から排水する作業中、バルブを大きく開けたところ大量に流れ出し、ホースが暴れて背面に排水液がかか	49	12	519	100 ～

			16	り、臀部から足にかけて火傷を負った。				299
15	2020	2	17 ～ 18	薬液製造室内で、ステンレス容器に入った原料（約18kg）を設備 に投入する作業中、容器を両腕で持ち上げようとした際に腰を痛 め、急性腰痛症を発症した。	27	19	529	100 ～ 299
16	2020	2	14 ～ 15	倉庫内外で、出入庫作業を行っていた際、リーチリフトを使用し 集荷作業中、同僚が運転するリーチリフトと接触し、右足首を打 撲した。	20	7	222	100 ～ 299
17	2020	3	5 ～ 6	原料混合の資材投入作業をパレットの上で行っている際、パレッ トを踏み外して右足首を骨折した。	32	1	416	100 ～ 299
18	2020	3	7 ～ 8	工場内でベルトコンベア同士が接触しないよう手で移動した際、 手袋が巻き込まれてベルトとローラーの間に左手中指を挟み切 断、および開放骨折した。	49	7	224	10～ 29
19	2020	3	16 ～ 17	トイレに行き、トイレの出口で足を滑らせ転倒した際、右足小 指、薬指にヒビおよび骨折を負った。	55	2	417	100 ～ 299
20	2020	3	10 ～ 11	会社敷地内で、来客の連絡を受け急いで迎えに行く際、裏手側溝 に右足を取られ、右第5中足骨基部を折った。	50	2	417	100 ～ 299
21	2020	3	17 ～ 18	充填室で清掃作業中、高さ10～15cmのホースを跨ごうとして、 ホースに足が引っ掛かり、前方にうつ伏せのような状態で倒れた 際、左足の左後方十字靭帯を剥離骨折した。	67	2	417	100 ～ 299
22	2020	3	9 ～ 10	倉庫で梱包作業中、梱包資材の横枠板を調整しようとハンマーで 叩いたとき、右手首の靭帯を損傷した。	56	19	364	30～ 49
23	2020	3	14 ～	工房で、エレメントプレス作業中、プレスした鉄くずをドラムに 移す際、鉄くずが滑り、右手のひらに切創を負った。	47	8	521	1～9

			15						
24	2020	4	17 ～ 18	製品仕上げ室で、製品の外観確認工程の作業を担当していたとき、後方でかき取りヘラの滅菌作業中の他の作業員が振り向いた際に、ヘラの柄が被災者の後頭部に当たり、頸椎症性脊髄症を発症した。	55	6	379	500 ～ 999	
25	2020	4	9 ～ 10	生産課でヘアオイル製品の生産終了後、資材を取りに行こうと移動した際、床に垂れていたヘアオイル（拭き取りシアルコール噴霧をしたが完全に除去できていなかったと推測される）で足を滑らせて転倒し、臀部を強打し、尾てい骨を折った。	54	2	417	500 ～ 999	
26	2020	4	10 ～ 11	フレコン充填作業で、フレコンの投入作業中、粉詰まりが発生し、被災者が作業台から下りるとき、充填機の柱に足をぶつけ、左足首に靭帯損傷を負った。	36	3	611	10～ 29	
27	2020	4	17 ～ 18	工場棟の中間製品保管室で、ハンドリフトを使用しコンテナドラムを移動中に、周辺の製品入ドラムを避けようとドラムポーターを使わず自力で動かした際、左脛脛に部分断裂を負った。	62	19	611	300 ～ 499	
28	2020	4	16 ～ 17	帰宅のとき、更衣室で着替えて階段を下りるとき、左足首をひねって捻挫した。	18	2	413	300 ～ 499	
29	2020	4	8 ～ 9	工場で稼働準備中、鉄製階段の最上部で作業していた際、階段が後方へずれて約1.5m下の地面に転落した。その際、頸椎と両股関節を捻挫し、両膝を打撲し、右大腿部に挫傷を負った。	52	1	371	50～ 99	
30	2020	4	8 ～ 9	工場内階段で、2階から1階へ移動中、最後の一段（18cm）を踏み外し、左足首をひねり、捻挫を負った。	53	19	413	100 ～ 299	
31	2020	4	16 ～ 17	試作室でサンプルの作成時、ゴム手袋をはめ、ウエスでロール表面の洗浄を行っていた。ロールのオン際、右手手袋ごと指を挟まれて、右環指挫滅創、右小指表皮剥脱創を負った。	48	7	163	300 ～ 499	

32	2020	5	16 ～ 17	充填室でキャップ締め作業中、落ちた容器を拾ったとき、バランスを崩して後ろに倒れ、腰を強打し、腰椎の捻挫と仙骨部を打撲した。	42	2	921	30～ 49
33	2020	5	9 ～ 10	施設駐車場で、ビニールのロール（幅1m×直径約50cm）をトラックの荷台からフォークリフトを使い降ろす作業中、ロールが落下しそうになり、誤ってトラック右側から転落した。その際、ロールが左足上に当たり、左足内果骨を折った。	33	4	611	10～ 29
34	2020	6	16 ～ 17	工場内でシート上のゴム材料を裁断後、裁断機内に残るゴムの端材を取ろうとした。裁断機の停止ボタンを押したが完全に押せていなかったため停止していない裁断機の、安全パネルの下から手を入れたところ、上下に稼働する部分に挟まれ左手中指および薬指を切断した。	43	7	169	10～ 29
35	2020	6	17 ～ 18	製品倉庫内のドラム置き場で、高さ約1.85mのラック上段に上がり、在庫確認とドラムへの表示作業を行っていた。作業が終わり地面に下りようとした際、左足が下段のドラムに届かなかったため飛び下りたところ、ドラムの上で滑り、左足と腹部を打ち、その後地面に落下して頬を打ち、左足頸部を複雑骨折した。	50	1	416	100 ～ 299
36	2020	6	8 ～ 9	入社後、作業服に更衣した後、再度作業現場側から更衣室に入室するとき、下から2段目の階段で、バランスを崩した。そのとき、手すりを触ったが手が滑って体勢を崩し、備え付けのカーテンを掴んだが、カーテンが外れて、着地の際、右足を捻挫した。	44	1	413	300 ～ 499
37	2020	6	22 ～ 23	延伸機の圧着ロール部の脇で、共同作業者にトラブル対応として、部品を取り外したことを説明しているとき、右手小指がロールに触れて巻き込まれ、右手小指先端損傷を負った。	43	7	163	100 ～ 299
38	2020	6	10 ～ 11	工場内で、混合機を稼働中、トラブルが発生したため機械を停止し、クリーニング機の落とし蓋を掃除した際、電源を停止したため、エアー弁が自動で閉まり、右手小指を蓋に挟み骨折した。	73	7	162	1～9
			11					100

39	2020	6	～ 12	塗装ブースで清掃中、パワプロ車で塗料カスを吸引した際、右手を近づけ、手首から肘付近を吸われ、右前腕に圧挫創を負った。	42	7	221	～ 299
40	2020	6	～ 15	14 会社の外階段を下りていたところ、雨で濡れていたため足を滑らせて転落し、右手をついた際に右肩を脱臼した。	24	2	413	10～ 29
41	2020	6	～ 9	8 アルコール約20kgが入っている移動式ビーカーを、充填室へ移動させていた際、コンテナとポンプを繋いでいるホースを乗り越えるために持ち上げたところ、腰を圧迫骨折した。	56	19	921	100 ～ 299
42	2020	6	～ 12	11 作業場で清掃作業中、回転する機械を停止せずに行っていたところ、機械の隙間に清掃用ブラシが巻き込まれ、左手も引き込まれて人差し指に裂傷を負った。	18	7	163	50～ 99
43	2020	6	～ 13	12 工場でローラーカーテンを右手で上げたとき、背中に痛みが走り、背部挫傷を負った。	47	19	921	30～ 49
44	2020	7	～ 12	製造の最後に不足したエアゾールの缶を取りに行き、空き缶の11 入った段ボール箱を両手に持って運搬していたとき、屋外の砂の付着した濡れたコンクリート路面で足を滑らせて転倒した。その12 際、近くに置いてあったパレットに胸を打ち、左多発肋骨骨折、肺挫傷を負った。	44	2	417	10～ 29
45	2020	7	～ 17	16 工場1F作業場で、蒸留用遮断板（43kg）を2名で運んでいたところ、持ち上げようとした際に、左肩を脱臼した。	25	19	529	100 ～ 299
46	2020	7	～ 11	化粧品充填作業中、中枠挿入を行っていたとき、エアプレス10 にて簇合を行っているが、プッシャーヘッドが汚れたため、機械停止ボタンを押して清掃を行っていた。そのとき、ボタンが押さ11 れておらず機械が稼動状態であったため、清掃を行っていた右手をプッシャーと容器ホルダーの間に挟まれて挫傷を負った。	39	7	391	300 ～ 499

47	2020	7	17 ～ 18	工場内で、溶剤系の廃棄物が入ったドラム缶の蓋を開ける作業中、溶剤がズボンに付着し、左下肢に化学熱傷を負った。	40	12	514	100 ～ 299
48	2020	7	12 ～ 13	陸揚げされた船内からの廃油回収時、船を降りる際、段差下にあったホースを踏んで足をひねり、小指の付け根等を剥離骨折した。	43	2	379	1～9
49	2020	8	15 ～ 16	作業場で就業中に、水酸化ナトリウムの入ったポリビンに水を注入して溶かそうとしたところ、爆発的に化学反応を起こし、沸騰したようになった。その際、ビンから吹き上がった液体が水しぶきのように体に掛かり、頭、顔、両腕、上半身に熱傷を負った。	47	12	514	1～9
50	2020	8	8 ～ 9	工場内1階製造ルームで作業中、入浴剤のもととなるクエン酸（1袋20kg）をクエン酸こし機に投入する作業を行っていた。そのとき、こし機に入れる前にクエン酸が固まっているので、袋ごと頭の位置まで持ち上げて床に落として砕く作業を3回ほど行ってから、約110cmの高さのこし機に投入していた。当日、5袋目の作業でクエン酸を砕き、こし機に投入しようと袋を持ち上げたところ、左足に負担が掛かり、左膝に痛みが走って、左膝蓋腱挫傷を負った。	28	19	611	300 ～ 499
51	2020	8	15 ～ 16	焼却炉周りで猛暑の中、水分補給をせずに繰り返しバーナーの洗浄作業を行ったことにより熱中症を発症した。	33	11	715	100 ～ 299
52	2020	8	15 ～ 16	工場では、製造した農薬（粉剤）をタンクから抜取・計量する作業中、農薬が出てこなくなったため、タンクの排出口に手を入れて詰まりを取り除こうとした際、油圧式ダンパーが閉まって、左手薬指が挟まれ、関節損傷を負った。	69	7	391	50～ 99
53	2020	8	8 ～	工場ではベルトコンベアーの調整中、モンキーレンチが緩み調整用ナットから外れて、右手がベルトコンベアーに乗ってしまい、ベルトプーリーの間に巻き込まれて、右中指不全切断、右母指、示	47	7	224	10～ 29

			9	指に挫創を負った。					
54	2020	8	10 ～ 11	プラント屋上で、製品原料であるフェノールの色相を確認するため、貯槽ポンプで循環運転し、サンプリング作業をしたとき、フェノールが漏洩し、床の防水塗装に染み込むことで滑りやすい状態となった。被災者は床面の漏洩に気付かず、足を滑らせ転倒し、背部・臀部・両上腕・両下肢に皮膚化学損傷を負った。	52	12	514	500 ～ 999	
55	2020	9	17 ～ 18	工場棟のクリーンルーム内で、日々の業務としてハンドリフト等を使用し、ドラムやコンテナを運搬していたところ、右脹脛に痛みが出始め、右腓腹筋不全断裂を負った。	53	19	362	300 ～ 499	
56	2020	9	9 ～ 10	工場棟2階で、ラインに流れる製品をオリコンへ挿入し、横の作業台へオリコンを移す作業を繰り返していた。その際、オリコン（11～12kg）を両手で持ち上げて横の作業台へ置いたときに腰椎捻挫を負った。	46	19	611	1000 ～ 9999	
57	2020	9	11 ～ 12	駐車場で、放置されていた古い配管を片付ける際、左手で配管フランジ部分を持ち上げ、右手で汚れを落とそうとしたところ、左手が滑り、フランジ部が右足先端に落ち、右拇趾末節骨を折った。	56	4	521	10～ 29	
58	2020	10	11 ～ 12	工場内の階段をビンの入ったカゴを持って下りているとき、足を踏み外して転倒した際、持っていたカゴに胸を強打して胸骨を折った。	67	2	413	30～ 49	
59	2020	10	13 ～ 14	作業中、不足した資材を取りに行くために、資材が載ったカゴ台車（高さ1700mm、バー高さ1260mm）から屈んで下段の資材に手を伸ばした際、カゴ台車に附属している鉄製のバーが下りていることに気付かず、左前頭部を強打し、三差神経痛、外傷性頸髄症を発症した。	37	3	362	500 ～ 999	
60	2020	10	9	～ 9	充填室で、充填前の原液供給ホースを洗浄中にホース内の温水を抜くため、ホースを傾けたときに手が滑り、ホースに附帯してい	44	6	379	50～

			10	る金属製のホース継ぎ手固定用バンドが高速で左手親指に当たり、創傷を負った。				99
61	2020	10	10 ～ 11	第7充填室で、ファンデーションの充填を行っているとき、右手でボトルに中栓をセットした際、機械が誤作動し、右手薬指の第2関節から小指にかけて打栓機で打撲（圧迫）し、右環指中節骨を折った。	50	6	169	50～ 99
62	2020	10	9 ～ 10	工場クリーンルーム洗浄室前で、機材を所定位置通路に戻す作業中、長靴での作業に慣れておらず、早歩きした際、右足首をひねり捻挫した。	24	19	921	300 ～ 499
63	2020	10	16 ～ 17	プラント包装エリアで、包装機内部の水掛け洗浄中、回転羽（スクリュー）を動作させ開口部を覗き込む姿勢でホースを持った際、指先が回転羽に当たり、右中指を開放骨折した。	45	7	162	100 ～ 299
64	2020	10	16 ～ 17	倉庫で、パレット上の荷崩れを直す作業中、クレーンの荷姿枠に周辺の目視確認が甘くなっており、前頭部（ヘルメット着用）を強打し、首が後ろに反った。その際、頸椎を損傷した。	45	3	419	50～ 99
65	2020	10	13 ～ 14	製袋作業中、原材料を掛け替えるとき、おもりを掛け損ねて右足の上に落とし、右母趾末節骨亀裂骨折を負った。	42	4	379	10～ 29
66	2020	11	9 ～ 10	ジャガイモ収穫機で生葉の収穫作業中、収穫機の左横で草や土くれを除去していたところ、畝に足をとられ、うつ伏せで転倒した際に、機械に巻き込まれて右足を轢かれ、捻挫、打撲および骨折した。	80	7	229	10～ 29
67	2020	11	16 ～ 17	廃棄するごみを回収後、ごみを抱えたまま送液ホースを跨いで通行しようとしたところ、足が送液ホースに引っ掛かって転倒し、右肘関節脱臼、右手首捻挫を負った。	66	2	379	100 ～ 299
			10	製品検品のため5段積みの段ボール（50cm×40cm×60cm）から、高さ50cmほどの2段の脚立を使用して1番上の箱を取って脚立から下				100

68	2020	11	11	りようとしたとき、足を踏み外して腰をひねりながら左斜め後方に転倒した。その際、左臀部を床に強打し、第10胸椎を骨折した。	47	1	371	～ 299
69	2020	11	7 8	成形工場での作業中、一度屋外に出て道を挟んで向かいにある印刷室へ洗浄用シンナーを取りに行った。シンナーが入った、金属製容器の流出口の下に金属製の缶を受け、蛇口をひねって開栓した瞬間、発火して着衣に燃え移り、下半身、左手に熱傷を負った。一連の行動は通常作業の一部であり、手袋、帯電防止用品、防火作業着などの装着はなかった。	55	16	512	500 ～ 999
70	2020	11	17 18	工場チューブ保管室で、空チューブの受け取り作業とチューブ運搬をする作業をしていたとき、腰に痛みを感じ、腰部に挫傷を負った。	56	19	611	300 ～ 499
71	2020	11	10 11	自動車部品の製造作業中、トイレに行った際、後方の段差（15cm）で足を踏み外し転倒し、右足をひねって体重が掛かり、右足関節を骨折した。	25	3	417	100 ～ 299
72	2020	11	16 17	工場で、天板を約1500mmの高さに吊り上げ（4点吊り）、脱型の天板バリをグラインダーで取る作業中、点を支えるハッカー部分のFRPが割れて、天板が落下した。その際、頭と足を強打したが、頭はヘルメット着用のため怪我はなく、左足の膝と足首に捻挫を負った。	39	4	521	10～ 29
73	2020	11	12 13	2段積みしていたドラム缶の上にある、製造伝票を取ろうとドラム天板に手を掛けたところ、上段のドラムが傾き右足甲に落下し、第2、5中足骨を折った。安全靴は履いていた。	47	4	611	30～ 49
74	2020	12	10 11	フォークリフトのタイヤを脱着し、両手にタイヤ（10kg）を持ち運搬中、通路が狭く荷車の持ち手に脇腹を打ち、転倒した。その際、腰部、右腸骨に打撲傷を負った。	32	2	417	1～9
				製造所積込場で、輸出ISOコンテナ出荷のため、ISOコンテナ（高さ3.8m）の上部に上って上部マンホールの締付確認中、安全帯の				

75	2020	12	10 ～ 11	フックを掛け、上部の枠に手を掛けたところで右手を滑らせ、転落した。そのとき、安全ブロックが作動して一旦宙づりになり、その衝撃で安全帯のフックが壊れて外れ、地面に落ちた。その際、右腎臓損傷、前胸部打撲、肋軟骨損傷を負った。	36	1	221	50～ 99
76	2020	12	9 ～ 10	リサイクル工場内の生産ライン稼働中、磁選機のベルト内側に入り込んだ金属片を取ろうと、生産ラインを止めないまま金属片を掴んだところ、右中指先も一緒に磁選機のアイドラとベルトの間に挟まれ、骨折した。	60	7	169	1～9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。